

北見ロータリークラブ週報

●創立/1937年9月30日 ●事務所/北二条ビル 3階 302号 ☎25-2824 ●例会日/毎週水曜日 ●例会場所/ホテル黒部

HPアドレス <http://www.kitamirc.jp>

第3327回例会・2021年2月24日

本日のプログラム

「短縮例会」

2020～2021年度国際ロータリーテーマ

『ロータリーは機会の扉を開く』

R.I. 会長 ホルガー・クナー

第3326回例会（2月17日）の記録

司会 佐々木(朋)親睦活動委員

ロータリーソング それでこそロータリー

会長挨拶 太布副会長



皆さんこんにちは。本日は短縮例会の4回目です。前週に続き副会長の私が会長スピーチをする事になりました。今日電話をしましたが、来週は元気に出ておられるのではないかなという風に思っている次第です。本日は皆様のご協力によりまして例会を開催出来ます事を感謝申し上げます。

現在発生しております爆弾低気圧被害、そして13日夜に福島県沖で震度6強の地震が発生しました。被災された皆様にはお見舞い申し上げたいと思います。この地震が10年前の東日本大震災の余震との事に私は驚きを隠せませんでした。さらに、この程度の余震が今後10年間続く可能性があることと政府の調査委員会が見解を示しています。当地にお住まいの皆様のご心境はいかばかりか計りしきれないものを感じます。津波が起きていたらと思う時背筋が寒くなる思いでしたが、その時テレビのインタビューに80歳前後の被災者が、「10年前に壊れた壁を直したとこであったが、また壊れた。私だけでない、皆大変なんだよね」と言って作り笑いをしていた事が印象的でした。大災害に遭った日本人の評価を思い出しました。二件ご紹介致します。

一件目、安政大地震に遭遇したペリー提督の当時の日本人について次のように述べています。「地震によって生じた災禍にも拘らず、日本人の特性たる反発力が表れていた。その特性はよく彼等の精力を証するものであった。彼等は落胆せず、不幸に泣かず、男らしく仕事に取り掛かり、意気阻喪する事も殆ど無いようであった」

「ランクアップしましょう」

地区ガバナー 松田 英 郎

二件目です。関東大震災の時の駐日フランス大使クロードルが第二次世界大戦の真っ只中の昭和18年の秋、パリの夜会でのスピーチです。「私がどうしても滅びて欲しくない一つの民族がある。それは日本人だ。あれほど古い文明をそのまま今に伝えている民族は他にない。日本の近代における発展、それは大変目覚ましいが不思議ではない。日本は太古から文明を積み重ねてきたからこそ、明治に入り欧米の文化を急速に輸入しても発展出来たのだ。どの民族もこれだけの急な発展をするだけの資質はない。しかし日本にはその資質があるのだ。古くから文明を積み上げてきたからこそ資格がある。彼等は貧しい。しかし高貴である」という風に伝えてございます。

私のスピーチも終わらせて頂きます。本日も宜しくお願い致します。



幹事報告 小池幹事

1. 理事役員の方々のレターボックスに次週行われます理事役員会の案内を投函しておりますので、欠席される方は幹事小池までご連絡をお願い致します。
2. 次週例会も短縮例会となっております。次週例会を欠席される方はお帰りの際までに私の方にご連絡を頂ければと思います。
3. 3月からの例会内容につきましては次週行われます理事役員会にて決定致しますので、決定次第ご連絡をさせていただきます。



出席報告 田巻出席委員長

出席報告	例会日	会員総数	出席免除	総出席計算数	例会出席免除者	事前メークアップ	事後メークアップ	確定計算出席数	出席率
計 算 式		A	B	C	D	E	F	C+E+F	$\frac{C+E+F}{A-B+D} \times 100$
本日	2/17	62	7	38	1	0	-	-	67.85%

【次回3月3日】 「短縮例会」

編集後記 道路の雪が溶けて少しだけ春の気配を感じますね。早く春よ来い！

(K.N)

2020～2021年度 北見R.C.活動方針

ロータリーの上質を目指しましょう

ロータリークラブとは

「奉仕の理想を各人の個人生活、職業生活及び社会生活の実践の基盤とする事に同意した、事業及び専門職務に携わる人によって出来たクラブ」と説明されています。

2020～2021年度 北見RC

●会長/岡村 金司

●幹事/小池 康幸

●週報編集/川上 明人